

様式2

※「部門Ⅱ」に申請の場合のみ、Word データで提出してください。

団体名	ゆめ・まち自然学校
-----	-----------

①団体がめざす将来ビジョンや、どのような社会を実現したいと考えているのかをお書きください。

・これまでの生活スタイルや価値観を見直し、意識と行動が変わることにより、現代の便利な生活を犠牲にすることなく、自然環境の保全に配慮した持続可能な社会づくりが行われている。

・子どもたちに豊かな自然の大切さを伝え、環境を守る意識を育てることができている。

・都市部においても、自然と触れあえる機会、自然がもたらす豊かさやその恩恵を知る機会がある。また、子どもたちは自然体験の機会を手軽に得ることができる。

・子どもたちとその親世代を中心に、自然体験のプログラムを提供し、教え伝える側(リーダー)として活躍できる人材が増えることで、環境保全の重要性を啓発する活動が盛んになる。

・置かれている状況(障害の有無、経済的困窮等)にかかわらず、すべての子どもたちが自然体験の機会を得て、自然と触れあえる機会、自然がもたらす豊かさやその恩恵を知る機会がある。

②上記①にむけて現在取り組んでいる活動、および 5 年後までに計画している活動と、「SDGs」との関連についてお書きください(記入方法は、記入例をご参照ください)。

※「SDGs」の目標4もしくは11(あれば17)に関連する取り組みについては、必ず、具体的にお書きください。追加で、それ以外の目標と関連する取り組みについて書いていただいてもかまいません。

現在取り組んでいる活動	5 年後までに計画している活動	「SDGs」との関連
1) ひとり親家庭向けプログラムの開発・実施 ・ひとり親家庭の子どもたちとその親が参加しやすいプログラムとして、開催した。 ・継続して実施するための財源がないため、まだ 1 回しか開催できていない。寄付募集や助成金申請等で資金を集め、継続的なプログラム実施を模索している。 ・上記以外の主催するプログラムで活用できる仕組みを検討する。	1) ひとり親家庭向けプログラムの開発・実施 ・年4回以上継続してプログラムを実施することができるよう、安定した財源確保のための資金集めの仕組みを作る(目標年間 150 万円)。 ・特別なプログラムとしての開催ではなく、主催するすべてのプログラムで経済的に困難な子どもたちが参加できる仕組みを整える→経済状況により参加できない子どもをなくす。	目標 1 目標 4 目標10 目標11
2) 障がい児等受け入れ対応方法等研修 ・ボランティアスタッフのリーダー向けに、ひとり親家庭や障害をもつ子どもの状況・受入方法などを学ぶ研修会を企画し、実施している(年1回以上)。	2) 障がい児等受け入れ対応方法等研修 ・リーダーだけでなく、すべてのスタッフに左記研修会を実施する(年 2 回以上)。 ・すべてのスタッフが多様な子どもたちの状況を理解し、適切な対応方法を習得する→主催するすべてのプログラムで多様な子どもたちが、置かれている状況にかかわらず、不安なく参加が可能になる。	目標 1 目標 4 目標10 目標11
	3) 障がい児・者の専門性を有する団体・機関・専門家との連携 ・障がい児・者の専門性を有する団体・機関・専門家とつながり、プログラム開発や研修講師として協力を得る。 ・支援を届けたい子どもたちを見出すために、その他の専門性を有する支援団体とつながる。 ・多くの団体がつながり、支援が必要な子どもに豊かな自然体験を適切に届ける仕組みを作る。	目標17